着mono通信

yoroduya

2023・12
vol.63

よろづ屋
着物・和のことSalon

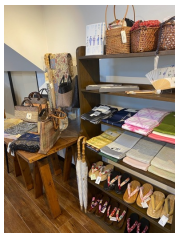
原町本店
〒975-0003
南相馬市原町区栄町2-83
TEL：0244-24-2929

いわき店
〒970-8026
いわき市平三倉69-8 第2地産ﾋﾞﾙ1F
TEL：0246-85-5298

みなさまこんにちは！！とうとう2023年も終わろうとしております。今年はどんな一年でしたか？
今年は5月になりコロナの規制が緩和されたのを受けて、当店でも様々なイベントやお出かけが実現できて、ようやく着物を心から楽しめた1年でした。来年はもっとパワーアップしたいとあれこれ考えております。まず、実現したいのが『ちょっとしたパーティー』です。よく、お客様が着物を選ぶ際に「どこに着ていったらいいのかしら？」と言った質問に対して呉服業界でお決まりの「ちょっとしたパーティー」。実際どこでやっているのか、いまだに謎のパーティーですが、よろづ屋が来年やります！！もちろんドレスコードは「きもの」ですが、訪問着でも、紬でも、小紋でも何でも良いんです！着たいきものを着ましょう！コーディネートも自由です！自分が一番のお気に入りのお着物で、ぜひ「ちょっとしたパーティー」にお出かけください。日程や詳しい内容については、次号でご案内します。来年もより一層お客様に寄り添い、着物と共に楽しく過ごせる店づくりをしていきます！

＜2023年　今年もお世話になりました！＞

今年もよろづ屋はたくさんのお客様に支えられ、無事に1年を過ごすことができました。お客様と着物を通して楽しむことができたこの1年。心からの感謝と共に振り返りたいと思います！



1月の初売りからよろづ屋の2023年がスタートしました。3月にはお客様と一緒に『東京キモノショー』を楽しみました。5月には原町本店の改装工事がスタートし、6月にリニューアルオープンしました。今年は例年にないほどの猛暑が続きましたが、浴衣でイベントの司会や、浴衣パーティーも4年ぶりに開催し、楽しい夏の思い出ができました。毎年恒例の『秋のきもの総力祭』にはたくさんのお客様と楽しい時間を過ごすことができました。
2024年もお客様と共に、楽しく元気に過ごしていきたいです！

＜イベント開催のお知らせ＞

原町本店にて、組紐体験会を開催いたします。
今回は根付にもなるミニストラップを作る体験会です。
丁寧なご指導のもと、組紐の台を使用して体験します。
初めての方も大歓迎です！！

日時：2024年1月26日（金）
10時30分／11時30分／14時／15時　各回1名様限定
受付開始日：1月4日（水）午前10時～（お電話にて受付）
※定員になり次第締め切りとなります。

＜　にっぽんの色と文様～その１２　師走編～　＞

日本の自然や文化から生まれた伝統の色や文様について一緒に学びましょう！

いよいよ本格的な冬到来！

12月は色や模様にクリスマスを取り入れても楽しいですね。

白群（びゃくぐん）
白みがかった清らかな青色をしています。藍銅鉱（らんどうこう/アズライト）を細かく砕いたものを顔料としています。この宝石でもある鉱物の粒子によって、淡い色彩ながらも存在感のある煌びやかな輝きが生まれました。

胡粉（ごふん）
イタボガキなどの貝殻を焼いて粉末にしたものを、顔料に使っています。ほのかな黄みと赤みを感じさせる白色は、日光東照宮の唐門をはじめとした建築物や絵画などを鮮やかに彩ってきました。明るくも厳かな趣がありますね。

雪華文　雪文の一種です。江戸時代に土井利位（としつら）が顕微鏡で雪の結晶を観察して制作した【雪華図説】が刊行されたことから、文様として数多く描かれるようになりました。雪は空からの豊作をもたらす便りとされ、五穀豊穣、富貴繁栄の願いが託されています。

宝相華文　ボタン、シャクヤク、フヨウなどの美しい花のパーツを各種組み合わせて描いた空想の花を宝相華（ほうそうげ）と呼び、図案化したものが「宝相華文」です。仏教と関わりが深い文様なので、神仏加護の願いを託すことができると言われています。

南天文　常緑低木のナンテンを描いたものです。日本ではその名前か「難を転じて福となす」縁起が良い木として今でもお正月などに飾られます。また、ナンテンの葉には防腐作用、実にも薬効があることから災難厄除け、無病息災に通じます。

＜きもの語　辞典＞　きの巻

着物に関して、わからない言葉や知りたい言葉などたくさんあると思います。専門用語が飛び交う中で？？に思うことも多々ありますよね。そんな着物にまつわる言葉を集めて簡単にご紹介していくコーナーです。

＜生糸（きいと）＞精錬していない絹糸のこと。繭から引き出した繊維を撚りをかけながら糸にしたもの。天然のたんぱく質が付いたままの生糸で織った布は「生絹（すずし）」といい、パリッと張りのある布に織り上がります。

＜着流し（きながし）＞男着物で、羽織や袴を省略して、着物に帯を絞めただけの着姿。いわゆる気軽なスタイルということです。女性の装いに「着流し」という言葉はありません。

＜キュプラ（きゅぷら）＞光沢があって絹のようななめらかな生地で、綿花を原料にした人工繊維です。裾除けやコートの裏地などに用いられます。

＜切りばめ（きりばめ）＞布地の柄の部分を切り抜き、そこに別布をはめ込む技法のこと。名物裂の柄の部分を切り取って縫い合わせた切りばめの帯などによく見られます。

今月のおススメ！

＜大判　風呂敷＞

110cm×110cm

2,200円（税込）

今月のおススメ商品は、あると便利な大判風呂敷です。着物を包んだり、カバーとして使ったり何かと便利な大判風呂敷が新入荷しました。落ち着いた柄で、ご自宅のファブリックの一つとして大変使い勝手のある大きさです。三巾の風呂敷よりも少し大きめの110cm×110cmで、綿100%なのでお家でも簡単にお洗濯できます。ハンガーラックにかけた洋服のほこりよけとしてカバーにしたり、ソファにかけたりと、風呂敷としての使い方以外にも用途は自由自在です。カバンに一枚入れておいて、急に荷物が増えた時など結び方一つでバッグにも変身します。使い方レシピも同封されていますので、風呂敷生活してみませんか？私も風呂敷が大好きで、旅行に行く時も必ず持参しています。今回はモダンな和柄が入荷してます！お早めにどうぞ！

・・・女将のつぶやき・・・・

先月届いた「はらまち商工会議所だより」なんと表紙を飾ってしまいました。原町商工会議所の事業所を紹介する記事のトップバッターを切ったのが「よろづ屋」でした。取材を受けた時は、まさか表紙になるとは思わずにいたので、届いてびっくり！何がびっくりかと言うと、私と専務の顔がそっくりなんです（笑）夫婦って似るんですね～。表紙の裏ページでは、写真や文章でお店の紹介もしっかりしてくださいました。ありがたいです。

さて、今年もたくさんのお客様に女将のつぶやきを楽しんでいただけて、心より感謝申し上げます。来年も女将をはじめ、各店のスタッフ共々どうぞよろしくお願いします。